

あなたは、軀と恋愛してるのよ——



星と月の穴

綾野剛

咲耶 岬あかり 吉岡睦雄 MINAMO

原一男 / 柄本佑 / 宮下順子 田中麗奈

脚本・監督 荒井晴彦

原作 吉行淳之介「星と月は天の穴」

(講談社文庫)

エグゼクティブプロデューサー 小西博介 プロデューサー 清水真由美 田辺隆史

ラインプロデューサー 金森保 助監督 竹田正明 撮影 川上晴市 新家子美穂

照明 川井孝徳 録音 深田晃 美術 原田恭明 装飾 寺尾淳 編集 洲崎千恵子

衣裳 デザイン 小笠原吉恵 ヘアメイク 永江三千子

インディアン ロケネーター 西山もも子 制作担当 刈屋真

キャスティング ディレクター 杉崎 音楽 下田悠郎 主題歌 松本美奈子「ちたろり他

写真 野村佑紀子 松山仁 アンシェイブ プロデューサー 藤田 田

製作・配給 ベイマックス・フロンティア・スタジオ 制作 フロンティア・スタジオ・マニマニ 一九四五

制作協力 メディア・コミュニケーションズ © 2005 星と月は天の穴 製作委員会

妻に捨てられた

こじらせ男の、

滑稽で切ない愛の行方。



愛すること、
愛されることを、
恐れながらも、
求めてしまう。

男は愛をこじらせる
—
いつの時代も、

小説家の矢添(綾野剛)は、結婚に失敗して以来10年、独身のまま40代を迎えていた。心に空いた穴を埋めるように、娼婦・千枝子(田中麗奈)と時折り体を交え、捨てられた過去を引きずりながらやり過ごしていた。そして、誰にも知られたくない自身の“秘密”にコンプレックスを抱えていることもあって、女性を愛することに尻込みをしてしまう。そんな矢添は、執筆する恋愛小説の主人公に自分自身を投影することで「精神的な愛の可能性」を探求するのが日課だった。ところがある日、画廊で偶然出会った大学生の瀬川紀子(咲耶)と、彼女の粗相をきっかけに奇妙な情事へと至り、矢添の日常と心が揺れ始める。

主演 綾野剛 × 監督 荒井晴彦が織りなす日本映画の真髄

キネマ旬報脚本賞に5度輝き、半世紀ものキャリアを誇る、日本を代表する脚本家・荒井晴彦。『火口のふたり』(19)をはじめ、自ら監督を務めた作品群では人間の本能たる“愛と性”を描き、観る者の情動を掻き立ててきた。最新作の本作では、長年の念願だった吉行淳之介による芸術選奨文部大臣受賞作品を映画化。過去の離婚経験から女を愛することを恐れる一方、愛されたい願望をこじらせる40代小説家の日常を、エロティシズムとペースを織り交ぜながら綴っている。主人公の矢添克二を演じるのは、荒井と『花腐し』(23)でもタッグを組んだ俳優 綾野剛。これまでに見せたことのない枯れかけた男の色気を発露、心と体の矛盾に揺れる滑稽で切ないキャラクターを生み出した。そして、大学生・紀子を咲耶、なじみの娼婦・千枝子を田中麗奈が、大胆かつ繊細に演じ切る。1969年という日本の激動期を背景に一人の男の私的な物語を映す、滋味深き日本映画に、温故知新を感じることだろう。日本映画界に一石を投じる<R18>の異色作が誕生した。



星と月は天の穴

綾野剛

咲耶 岬あかり 吉岡睦雄 MINAMO 原一男 / 柄本佑 / 宮下順子 田中麗奈

脚本・監督 荒井晴彦

原作 吉行淳之介「星と月は天の穴」(講談社文芸文庫)

©2025「星と月は天の穴」製作委員会

https://happinet-phantom.com/hoshitsuki_film/ X @hoshitsuki_film

12.19(金)公開